

# 平成 29 年度第 4 回環境審議会

## 議 事 録

平成 30 年 2 月 1 日（木）

足立区役所 13 階大会議室 A

(開催概要)

平成 29 年度第 4 回環境審議会議事録

会議名	平成 29 年度第 4 回環境審議会		
開催年月日	平成 30 年 2 月 1 日		
開催場所	足立区役所 13 階大会議室 A		
開催時間	午前 9 時 30 分から午前 10 時 30 分まで		
出席状況	委員現在数 15 人 出席委員数 14 人		
出席委員	田中 充	百田 真史	せぬま 剛
	ぬかが 和子	くぼた 美幸	大竹 さよこ
	戸荊 建作	小泉 俊夫	佐藤 強士
	茂木 福美	枝光 弘味	中村 重男
	古地 八重子	石川 義夫	
事務局	環境部長、環境政策課長、ごみ減量推進課長、足立清掃事務所長、生活環境保全課長、庁舎管理課長、鉄道事業担当課長		
会議次第	別紙のとおり		
会議に付した議題	報告事項 1 カーボン・オフセットの実施について 報告事項 2 「あだち環境かるた 3」に採用する読み札の決定について 報告事項 3 フードドライブ（未利用食品の回収）の常時受け入れ窓口の開設について 報告事項 4 都市鉱山から作るメダルプロジェクトについて 報告事項 5 竹ノ塚駅付近連続立体交差事業の環境影響評価事後調査報告書の提出について 報告事項 6 省エネ法及び東京都環境確保条例に基づく報告書の提出について		

(会議経過と議事の要旨)

会 長	<p>平成 29 年度第 4 回足立区環境審議会を開催する。今年度最後の審議会となる。</p> <p>まず、出席委員を確認する。委員定数 15 人、出席議員は 14 人であり会議が成立していることを報告する。</p> <p>議事録署名人は、百田副会長と茂木委員を指名する。よろしく願います。</p> <p>次に、配布資料の確認をお願いする。</p>
事務局	<p>事前に配布した資料は、本日の審議会資料のつづりと事後調査報告書の 2 種類である。席上に配布した資料は、次第、東京都環境白書 2017 の冊子、産業支援ハンドブック、みどり東京フォトコンテスト 2018 カレンダー、夏休み子どもエコプロジェクトのファイル、前回の会議録の 6 種類である。不足があれば事務局まで願います。</p> <p>東京都環境白書は、東京都の環境の取組みをまとめたもので 2017 年度版を配布した。後ほど、参考にご覧いただきたい。</p> <p>夏休み子どもエコプロジェクトのファイルは、小学 5 年生の夏休みの省エネ行動の取組結果をまとめたものである。裏面に取り組んだ人数や内容が記載されている。参考に配布した。ご活用いただきたい。</p> <p>次に、前回の環境審議会で田中会長から環境マネジメントシステムの認定取得に関する助成制度について質問いただいたが、回答ができなかったので、回答する。</p> <p>配布した産業支援ハンドブックの 14 ページに環境管理基準の I S O 14001 の助成制度、また 47 ページにエコアクション 21 の助成制度の記載がある。このほかにも、事業者向けの様々な助成制度が紹介されている。後ほどご覧いただきたい。</p> <p>また、本日の審議会終了後、10 名の委員にご参加いただき、株式会社リコーの環境事業開発センターの見学会を開催する。ご参加いただける方は一日の長丁場になるが、よろしく願いたい。</p>
会 長	<p>それでは、報告事項に移る。</p>
事務局	<p>報告事項 1 カーボン・オフセットの実施について説明する。</p> <p>カーボン・オフセットは、平成 27 年度から区の事業として実施している。カーボン・オフセットのしくみについては、資料に記載している</p>

のでご覧いただきたい。

これまでに実施したカーボン・オフセットの主な事例は、平成 27 年度は、清掃車 66 台の 1 年間の走行に伴う CO2 排出量 520 t 分をゼロにしている。平成 28 年度は、2 月の省エネ月間中に、本庁舎で電気ガス使用に伴う CO2 排出量 351 t をカーボン・オフセットしている。

今年度は、3 月から 11 月までの 9 ヶ月間に公用車の使用に伴い排出する CO2 の 296 t をカーボン・オフセットする。

実施の考え方については、4 月から電気自動車への買い替え 6 台、リース車両更新による燃費性能の向上が 46 台などの削減努力により、昨年の 309 トンに比べ 4.2%削減する。

対象期間については、友好都市の魚沼市が 12 月にクレジットを創出し、その手続きが 2 月に完了することや、予算上の関係で 3 月からの 9 ヶ月間となる。

購入先は、魚沼市、八峰町、阿賀町、高知県で、記載のと通りのクレジットを購入する。296 トン 317 万円である。

カーボン・オフセットを通じて地球温暖化対策や森林保全の大切さを啓発していく。特に、足立区は自動車からの CO2 排出量が都内で一番多いという点から、自動車部門の CO2 削減のきっかけとしていきたい。期間中は、各車両に PR 用のマグネットシートを貼付するほか、2 月の省エネ月間や 11 月のエコドライブ推進月間で PR していく。

また、職員には、エコドライブの取組みや CO2 排出量の現状を周知し、公用車利用の見直しにより CO2 削減に取り組みたい。なお、クレジットの購入代金は、各自治体で今後の森林整備等に活用される。

今後は、区民に浸透していない取組みであるため、目的や効果などをわかりやすく PR していきたい。

あわせて、一点ご報告する。これまでの区のカーボン・オフセットの取組みが、「自治体政策評価オリンピック」において、先進事例として表彰された。こちらが賞状である。「自治体政策評価オリンピック」は、環境首都創造 NGO 全国ネットワークが実施したもので、先進事例を表彰する制度である。全国の 36 市区町村が参加した。先進性、独創性、取組みの成果、持続可能な地域社会の形成などの観点から評価し、足立区など 21 の市区町村の事例が表彰された。

足立区のカーボン・オフセットの取組みは、都市部の自治体が、森林の CO2 排出量吸収に目を向け、他の自治体と連携し、まとまった量のカーボン・オフセットを実施していることが評価され、気候変動防止分野

	<p>の先進事例として表彰された。</p> <p>続いて「あだち環境かるた3」の読み札の決定について説明する。昨年、区内の小学校にかるたの読み札を募集したところ、11,115 点の応募があり、44 の読み札を審査会で採用した。5 ページ目が採用作品一覧である。来年度のかるた大会から、新しいものを使用する。今年度のかるた大会で、読み札に採用された方の表彰式を行った。以上である。</p>
会 長	<p>カーボン・オフセットと環境かるたの2点の報告があった。カーボン・オフセットは、都市部の区域では削減できない分を、森林を保有する自治体から排出分を購入し、財政面で支援をするというしくみである。</p> <p>委員から質問等があればお願いしたい。</p>
委 員	<p>自動車からのCO2 排出量削減の対策について、事業者も参加できるしくみを考えてほしい。また、企業の排出量削減の取組みに対して表彰制度を取り入れてほしい。</p>
事務局	<p>2月から3月にかけてトラック協会やタクシー協会に、CO2 排出量が最も多いことを知っていただき、エコドライブの取組みを推進していく。表彰制度についても検討していきたい。</p>
会 長	<p>民間事業者の優れた取組みにスポットライトをあてることで、波及していく効果があるので、ぜひ取り組んでほしい。</p>
委 員	<p>職員の公用車利用や運転方法の見直しを、積極的に推進してほしい。公用車の台数削減の検討もお願いしたい。</p>
事務局	<p>公用車のガソリンの使用量と走行距離を報告してもらい、職員と確認しながら積極的に進めていきたい。また、公用車の台数の縮小はすでに取り組んでいるが、余っているようなことがあれば検討していきたい。</p>
委 員	<p>間伐材を利用することが、森林保全につながるということを区民に普及啓発してほしい。また、チェックシートでCO2 の削減量がわかるしくみを取り入れるなど、子どもたちへの環境学習の充実発展してほしい。</p>

事務局	<p>友好都市の鹿沼市を中心に、間伐材の工作或現地での間伐・植林体験を行っているところである。今後、第三次環境基本計画のPR用の冊子を作成する予定であり、そのなかで、間伐材の有効利用を検討したい。</p> <p>小学校5年生のスタートブックやキッズISOを行っているが、これに限らずできることを検討していきたい。</p>
委員	<p>足立区が自動車部門でCO2排出量が多いのはなぜか。また、今後の排出削減に向けた取組みについてお聞きしたい。</p>
事務局	<p>足立区は、都内で貨物が最も多く、世帯あたりの乗用車の保有も多いという点が一つ挙げられる。排出量は、東京都から提供されるデータで算定するので詳細は不明なところがあるが、通過交通量や渋滞の状況も考慮して計算しているということである。</p> <p>取組みとしては、公共交通や自転車の利用、エコドライブの推進をしている。また、昨年度から電気自動車の補助金をはじめており、燃費のよい車両への買い替えを進めている。</p>
会長	<p>他にないようなので、次の報告事項に進む。</p>
事務局	<p>報告事項の3、フードドライブの常時受け入れ窓口の開設について説明する。</p> <p>平成28年度からイベント時に実施していたが、常時受け入れ窓口を3箇所設置した。設置場所と受付時間は、ごみ減量推進課・足立清掃事務所は、平日9時から17時まで、あだち再生館は、土曜日と日曜日の9時から17時までである。</p> <p>実施方法は、区民から提供のあった食品の賞味期限をチェックし受領する。その後、ごみ減量推進課で食品の最終チェックを行い、区民参画推進課・NPO活動担当課と連携し、区内のNPO団体を中心に提供する。余った食品はセカンドハーベストジャパンに提供する。対象食品は、記載の通りである。周知方法は、12月の広報やホームページで周知している。今後の方針は、区民にとって身近なところでの受け入れ窓口を検討している。</p> <p>次に、都市鉱山から作るメダルプロジェクトについて説明する。これは、東京オリンピック・パラリンピックの入賞メダルを作成する、国民参加型のプロジェクトである。多くの区民に参加してもらうことで、大</p>

	<p>会の機運を盛り上げるため、実施している。</p> <p>回収品目は、携帯電話とスマートフォンで、回収期間は、昨年 12 月 1 日から平成 31 年の春ごろまでを予定している。回収場所は、ごみ減量推進課窓口及び各区民事務所である。回収方法は、個人データの消去を確認したうえで、対面で受け取りをしている。目標台数は、4000 台で、金メダルを 1 個作成できる台数である。個人情報心配で穴あけを希望する場合は、ごみ減量推進課の窓口で穴を開けた上で回収している。報告は以上である。</p>
会 長	委員からご意見、要望があればお願いしたい
委 員	フードドライブは、どのくらい集まったのか。
事務局	1 月 9 日からの回収量は、ごみ減量推進課の窓口で、135 品目、約 21 k g の食品の提供があった。内容は、缶詰やインスタント食品などである。清掃事務所は、8 品目約 1 k g の提供があった。あだち再生館は、7 品目、約 2 k g の提供があった。
委 員	今後も継続性と一定の周知をお願いしたい。また、食品ロスの取組みもあわせて実施してほしい。
事務局	今後も、広報、ホームページや SNS での周知、また、宴会時の 3010 (サンマルイチマル) 運動もあわせて啓発していきたい。
委 員	サルベージパーティの機会を増やしてほしい。
事務局	サルベージパーティは、20 名の方に参加したいただき、好評であった。地域の学習センターなどで、気軽に参加できるイベントとして検討していきたい。
会 長	メダルプロジェクトは、小型家電回収事業から切り離されることになるのか。また、携帯電話には金以外にもさまざまな希少金属があるがそれらはどうなるのか。
事務局	小型家電を回収する事業者もこのプロジェクトに参加している。粗大

	<p>ごみから出る小型家電の回収についても、プロジェクトに参加している認定事業者に引き渡している。また、このプロジェクトは、金メダルだけではなく、金銀銅のメダルをつくるものである。</p>
会 長	<p>携帯電話に入っている希少貴金属が、リサイクルと連動されることを広報するとよいと思う。</p> <p>他になければ、報告事項 5、6 の報告をお願いします。</p>
事務局	<p>報告事項 5、竹ノ塚駅付近連続立体交差事業の環境影響評価事後調査報告書の提出について説明する。これは、環境アセスメントに基づいて、東京都に提出したものである。調査結果は、おおむね基準内であった。昨年 12 月 21 日に開催された東京都の環境審議会での報告案件として付議されたが、特に意見等はなかった。調査結果の内容については、別冊の資料をご覧いただきたい。</p> <p>10 ページは、着手から完了までのフロー図である。着手前に提出した計画書に基づき、施工中の調査項目報告書の提出時期を定めている。工事完了後に結果報告を行い、環境アセスメントの手続きが終了する。以上である。</p> <p>続いて、省エネ法及び東京都環境確保条例に基づく報告書の提出について説明する。</p> <p>まず、省エネ法による定期報告書の提出について、対前年度比 1% の削減を義務つけられており、平成 22 年度に比べてすべての事業所、教育委員会部局、区長部局が減少している。夏の気温によりエネルギーの使用量が大きく変わってくる。28 年度は 6 月から 10 月まで平均気温が高く、冷房稼働時間が増えたことにより、前年度に比べてエネルギーの使用量が増えた状況である。</p> <p>次に、東京都環境確保条例による地球温暖化対策報告書の提出についてである。本庁舎はエネルギー使用量が原油換算で年間 1500KL 以上であり、CO<sub>2</sub> の削減が義務付けられている。第一次計画期間（平成 22 年度から 26 年度）は、各年度とも上限を下回っており、基準を達成した。第二次計画期間（平成 27 年度から 31 年度）は、平成 27 年度は 5,092 トン、平成 28 年度は 5,116 トンであり、上限の 5,124 トンを下回っている状況である。現在、本庁舎では証明器具の LED 化、空調機器の更新などで、省エネ化が進んでいるが、引き続き努力していく。以上であ</p>

	る。
会 長	いずれも法令に基づく資料の提出の報告であった。 委員から質問等があればお願いしたい。
委 員	竹の塚立体工事について、夜間の工事に変更があったということだが、環境影響評価はどのようになるのか。
鉄道関連事業 担当課長	今後、東京都の都市計画の事業認可の変更の手続きをする。それに基づき環境局と調査して、早期に修正する。
委 員	鋼矢板撤去工事を夜間行う際、環境影響評価には、どのような影響が懸念されるのか。
鉄道関連事業 担当課長	夜間の工事については低振動のもの、騒音については防音シートを使用するなど、これまでどおり環境に対する配慮をしていく。
会 長	予想外の追加的な工事に伴う、住民に対する影響の緩和や措置をとって行っていただきたい。
委 員	フードドライブを町会にも回覧板で周知してほしい。
事務局	積極的に周知できるように調整していく。
会 長	省エネ法は、事業者単位なので区の施設をまとめて1%削減が義務ということだが、都条例は敷地内の建物全体でエネルギー使用量を報告するということか。
庁舎管理 課長	都条例は、大規模な施設である本庁舎のみが対象となる。
会 長	ここまで、6点の報告事項を行った。それぞれ課題や要望等があったので、事務局で整理をして担当課で対応をお願いしたい。 他に委員から何かあればお願いしたい。

委員	<p>来年はエコプロに参加しないと聞いたが、エコプロは、区の取り組みをPRでき、他の先進的な取り組み情報も得ることができ、交流できる貴重な機会であるので、参加を継続してほしい。</p> <p>また、会長へのお願いになるが、SDGsの自治体での取り組みのあり方を教えてほしい。</p>
事務局	<p>エコプロは、3年間の事業の区切りでもあり、予算の問題上、オール東京62市区町村共同事業として出展しないと決定したと聞いている。</p>
会長	<p>エコプロは、取組みのPRや技術が交流するいい機会である。継続したいという意向があることを、オール東京の事務局に伝えてほしい。</p> <p>SDGsは、国連が「持続可能な開発・発展ための目標」として17分野で達成すべき目標を定めたものである。政府としても、この実現に向けた公約を掲げている。自治体では、環境基本計画を策定する際に、環境政策としてSDGsに貢献できることを整理していくことが挙げられる。また、SDGsは環境分野だけでなく、社会分野も含まれているので、基本構想という大きなレベルで取り上げる必要があると思う。</p> <p>他にご質問がなければ、事務局にお願いする。</p>
事務局	<p>長時間ご審議いただき、御礼申し上げます。</p> <p>次回は4月13日午後3時から開催する。おおむね1か月前に開催通知を、一週間前に資料を送付する。また、区では来年度、一般廃棄物と災害廃棄物の処理に関する計画の策定を予定している。次回以降、環境審議会のご意見をいただきながら計画の策定を進めていきたいと考えている。よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>今年度は本日が最後となる。来年度は、廃棄物の処理計画について審議をするということである。</p> <p>以上で平成29年度第4回環境審議会を終了する。</p>

(会議録署名)

平成 29 年度第 4 回環境審議会会議録記録署名員  
(平成 30 年 2 月 1 日 開催)

会 長	田 中 亮
署 名 委 員	百田真史
署 名 委 員	茂 木 福 美